



コピーライター  
近藤 マリコ

コピーライター、プランナー、コラムニスト。工芸・着物・伝統芸能、職人の世界観、現代アートや芸術全般、日仏文化比較、紀行文などのテーマを主に手掛ける。やっとかめ文化祭ディレクター。



# 一目置かれる名古屋の手土産セレクション



企業訪問をする際に、気の利いた手土産を持っていけたら、相手に喜んでいただけるだけでなく、そのセンスの良さに好感度アップという効果もついてきます。シーンに応じて使えるさまざまな名古屋の手土産を紹介します。

## vol.6 万年堂

寒い冬の午後に、あたたかい甘味の贈り物。

このほかにも…



干菓子 半生菓子 左・半生菓子セット 1,296円(税込)  
右・干菓子セット 1,620円(税込)

これぞ万年堂の代名詞になっている干菓子と半生菓子のセット。季節を映した色鮮やかな干菓子と半生菓子の美しさには、思わずうっとりしてしまう。箱を開けた瞬間に歓声が上がること間違いなしの玉手箱のようなお菓子。



御久寿湯 10個入：1,868円(税込)  
パ ラ：172円(税込)

寒い冬の日の午後、くず湯でティーブレイクできるなら、きっと喜ばれる方は多いはず。子供の頃、風邪をひいてくず湯を飲ませてもらった思い出が蘇るかもしれない。プレーンの他、柚子・黒糖大島・抹茶もある。

### 万年堂

東区東桜2丁目17-21  
052-931-1234  
営業時間：平日9:00~17:45  
定休日：日曜日



万代 懐中志るこ  
8個入：3,672円(税込)  
パ ラ：432円(税込)

新しい年を迎え、そろそろ仕事始めのご挨拶が済んだ頃でしょうか。新年を祝うおめでたいお菓子を目にする機会が多い季節です。万年堂の干菓子は、その美しい彩りと季節を見事に表した姿に、幾多の粋人を唸らせてきました。きつと今頃は、あちこちで万年堂の干菓子を愛でるシーンによく出くわすはず。だからこそ、このタイミングで手土産をお持ちするなら、干菓子以外の銘品をあえて選んでみたいものです。

あたたかため食べる和菓子がほとんどないことから、あたたかい和菓子を召し上がっていただきたい、という思いで作られたのが万年堂の「懐中志るこ」。餅ダネで粉末のあんが包まれています。お椀の中に入れ、手で割って砕き、上から熱湯を注いで、餅ダネをしっとりさせてからいただきます。焼き目のついた餅ダネが香ばしく、あんとオフィスの良さが味のポイント。オフィスならマグカップでいただけるので、ちょうど良いサイズです。程よい甘さのおしるこは、脳の疲労にも効き目があると言われており、午後の休憩にはぴったり。とろんとした甘さとあたたかさは、寒い冬になによりの贈り物になるはず。